

女子学生通信



Kobe
Pharmaceutical
University
Press

Vol.182

2026 Spring Summer

表紙のヒト

6年 吉田 優さん

神戸薬科大学で過ごす日々も残り1年を切りました。これまでの学生生活を振り返ると、薬学生として本当に充実した環境で学べたんだと、改めて実感しています。同じ目標に向かってがんばる友人たちに囲まれた単科大学ならではの環境はとても学びやすく、支え合いながら少しずつ、でも確実に成長することができました。また、高学年になってからは研究活動にも励み一つひとつの実験や作業に達成感を感じながら、論理的に考える力や責任感を養うことができました。残りの学生生活も、就職活動や研究、国家試験の勉強、アルバイトなど忙しい毎日が続きますが、「楽しむこと」をモットーにきちんと向き合い、患者さん一人ひとりに寄り添えるステキな薬剤師へと近づいていきたいです。

ききょう通信

Contents

- 03 学長2期目に関して
- 05 〈特集〉キャンパス整備プロジェクト12年の軌跡
- 11 教えて先生！ 研究内容をカンタンに
- 13 Front Runner
- 15 神薬カンケイ
- 17 SHINYAKU REPORT
 - 国家試験と進路
 - ききょう祭
 - ベストティーチャー
 - 神薬ワードパズル

題字について
1970年10月に「ききょう通信」は創刊されました。
当時の金子太郎学長が書き下ろされた題字を
タイトルとしています。



大学認証評価
神戸薬科大学は、公益財団法人大学基準協会による
大学評価基準に適合していると認定されています。



6年制薬学教育プログラム評価
神戸薬科大学は、一般社団法人薬学教育評価機構が定める
「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されています。

撮影のウラ側！
お見せします！



「神薬大の学びがあったから今の自分がある」と、 将来、誰もが確信できる大学を目指して。

1期目は、コロナ禍という激動の中で
本学の基盤を固めた期間でした。
キャンパス整備は2026年3月の
「神薬ガーデン」の完成をもって完了
し、ICT基盤を備えた新教育棟な
ど、学生が学びに没頭できる環境が整
いました。

教育面の大きな変化として、学年縦
断型アクティブラーニング「ロジカル思
考演習」が始動しました。対話型の学
びを通じ、未来の薬剤師に不可欠な論
理的思考力とコミュニケーション能力
を養っています。また、国家試験に向け
ては国家試験対策委員会を中心に全学
一丸となった支援体制を構築しまし
た。学習の遅れがちな学生を早期に
フォローし、オンライン学習ツールを利
用した朝演習の実施やチューター制な
どを取り入れることで、一人ひとりが
自律して勉強に取り組める環境を整
えてきました。

本学の変わらぬ強みは、教職員的情
熱です。「学生のために」と、泥臭い努力
を厭わず協力を文化があります。こ
の献身的なサポートこそが成果の源泉
です。今後も地域医療に貢献する人材
育成に向け、学生の心に寄り添う教育
を一層進化させてまいります。

2期目は「持続的に発展するユニ
クな薬科大学」の実現に向け、教育の
質をさらに深化させます。最優先事項
である国家試験ストレート合格率の向
上に加え、豊かな対話力と主体性を備
え、地域医療に貢献できる薬剤師の育
成に邁進します。

「選ばれる大学」であるため、1期目
から現在進行形で入試改革も押し進
めています。入試の多様化を図り、グ
ループディスカッション等を通じて、入
学後に大きく成長するポテンシャルを
持った人材の発掘に努めています。志
望度の高い学生を年内入試で早期に
確保し、充実した入学前教育を提供す
ることで、大学での学びへスムーズに移
行できる体制を一層拡充します。また、
地域枠の設置を通じ、薬剤師偏在の解
消にも貢献します。

本学の強みである研究力に関して
は、戦略的に研究分野を絞り込み、「神
薬大ブランド」を確立することで、研究
にも強い大学としてのイメージを学内
外へ発信していきます。最先端の成果
を教育に還元し、学生の論理的思考力
を養うことで、社会から信頼され、選
ばれる大学を築いてまいります。

変化の激しい医療現場において、卒
業生には「論理的思考に基づいた確か
な判断力」、自らを律して研鑽し続け
る「学びの持久力」、そして何より「相
手の立場に立って寄り添えるコミュニ
ケーション能力」を武器に活躍してほ
しいと願っています。

私が目指すのは、卒業生が現場で壁
にぶつかった時、「神薬大の学びがあっ
たから今の自分がある」と確信できる
大学です。在学中の徹底した指導は、
生涯にわたる患者様や地域から信頼
される「本物の実力」を養うためのもの
です。

学生が「この大学に入ってよかった」
と真に感じるのは、薬剤師として誰か
の役に立てた瞬間だと信じています。
その自信を支えるため、私たちは教職
員一丸となって学生のポテンシャルを最
大限に引き出し続けます。本学は卒業
後も皆さんの誇りであり、いつでも立
ち寄れる心の拠点です。共に次代の薬
学を切り拓いていきましょう。



学長 北川 裕之

京都大学薬学部卒業、同大学院薬学
研究科博士後期課程修了。神戸薬科大
学にて講師・准教授・教授を歴任し、副学
長を経て2022年より現職。長年にわたり
教育と研究に携わり、学生一人ひとりに
寄り添う姿勢を大切にしながら、本学の
発展と人材育成に尽力している。

第1期：2022年4月1日～2026年3月31日

第2期：2026年4月1日～現在

Kitagawa Hiroshi

President Message.

撮影のウラ側！
お見せします！





キャンパス整備プロジェクト
CAMPUS
DEVELOPMENT
PROJECT

12年の軌跡

THE 12-YEAR TRAJECTORY OF THE PROJECT

さらにもっと、どこまでも。

学生ファーストを信念に。

2014年に始動したキャンパス整備プロジェクトは、神薬ガーデンの完成をもってひと区切りを迎えました。施設整備を担う管財課の古田課長と、ワーキングチームの委員長としてプロジェクトを推進してきた坂根教授。それぞれの立場から歩みを支えてきた二人が、12年の軌跡を振り返ります。

12YEARS

PROJECT HISTORY

2014年

各棟の耐震計画が進む中、耐震対応にとどまらず、キャンパス全体の使い方を見直す機運が高まり、プロジェクトが本格的に動き始める。

2015年

キャンパス再編に向けたマスタープランが整理され、建て替えの順序や配置の方針が固まる。

2016年

新8号館（現C棟）の建設に着手。研究室の移転先として整備が進み、段階的な再編に向けた基盤づくりが始まる。

2017年

新8号館（現C棟）が完成し、研究室の集約が進む。キャンパス再編の第一段階が整う。

2020年

新教育棟の建設計画が具体化し、設計・施工に向けた検討が本格的に進む。

2021年

設計・施工のコンペを経て、新築工事が本格的に進行。

2024年

新教育棟が完成。講義室や実習室、自習スペースなどを備えた新たな学びの環境が整う。

2026年

1号館跡地に整備された神薬ガーデンが完成。3月には植樹式を挙げる。

FURUTA
KOJI

事務局管財課 課長
古田 耕治

一級建築士としての専門性を活かし、キャンパス整備プロジェクトを現場から統括。耐震化を起点に、教育・研究環境の再編や動線設計など、キャンパス全体の再構築を推進。「学生の使いやすさ」を軸に施設整備を進めている。

SAKANE
TOSHIYASU

教授
坂根 稔康

製剤学研究室所属。京都大学大学院修了後、複数の大学で教育・研究に従事し、2016年より現職。キャンパス整備プロジェクトでは、教員を中心としたワーキングチームの委員長として、プロジェクトを推進している。

SPECIAL FEATURE



SHINYAKU GARDEN OPEN

記憶を受け継ぎながら、これからの時間を紡いでいく。
新たな憩いの場がついに完成。

1号館跡地に整備された屋外広場「神楽ガーデン」が2026年3月、ついに完成しました。この広場は「流れと淀み」を生み出す空間として設計され、内の神楽リビングと呼応する外のオープンスペースとして、学生たちの憩いの場になるようつくられました。芝生やステージ、大階段、バスケットゴールなど、多様なスペースが設けられ、思い思いの過ごし方ができます。また、もともとあった1号館の柱の一部はレガシーとして残され、キャンパスの記憶を受け継いでいます。学生・教員・職員がともに創り上げたこの場所は、本学で過ごすそれぞれの時間に、きっと彩りを添えていくことでしょう。

PROJECT INTERVIEW

学生ファーストであること。
その一点を軸により良い環境へと磨き上げる。

古田課長は、プロジェクトが始動した2014年当時を「各棟の耐震計画が進む中で、耐震対応にとどまらず、キャンパス全体の使い方を見直す流れが次第にはっきりしてきました」と振り返ります。当時は研究室や事務機能がキャンパス内の各所に分散しており、全体を整理する必要性について、現場でも認識が広がっていました。こうした問題意識を背景に、2017年には8号館(現C棟)の建て替えが実現し、研究室の整備が進められます。この取り組みは、キャンパス再編の大きな一歩となりました。

一方、2018年にワーキングチームへ加わり、2022年から委員長を務める坂根教授は、「私が参画した時点で方向性はすでに定まっていたが、それをさらに洗練させることが重要でした」と振り返ります。施設課(現管財課)とワーキングチームが中心となり議論を重ねる中で、検討の視点は次第にキャンパス全体へと広がり、立場や専門領域を超えた対話を通じて、構想は着実に実現へと結びついていきました。

古田課長は、「議論を重ねる中で常に大切にしていたのが『学生ファースト』という考え方です」と語ります。「学生にとって使いやすいか」を基準に、段階的な建て替えによって移転や更新が無理なく進む計画が組み立てられていきました。坂根教授も、新教育棟について「新しいカリキュラムを見据え、教室の数や用途、音響設備など、学生の使いやすさを重視しました」と話します。

プロジェクトの過程では、コロナ禍や資材価格の高騰にも直面しました。「社会の情勢に合わせて、その都度やり方を調整しながら進めてきました」と古田課長。設計条件の見直しにも対応しながら、柔軟に向き合う姿勢がプロジェクトを前に進める原動力となりました。

坂根教授は特に印象的だった取り組みとして、学生や教職員の意見を取り入れたワークショップを挙げます。椅子や照明、コンセント配置など細部にまでその声が反映され、「細部の使いやすさが全体の満足度につながる」と両者は口をそろえます。こうした改善の積み重ねが、空間の質を高めました。

完成した新教育棟には、可動モーターを内蔵した実習台や、可動

これは完成ではなく通過点。
キャンパスはこれからも進化を続けていく。



WORKSHOP

キャンパスをみんなで創るべく、
積み重ねてきたワークショップ。

第1回 みんなで創ろう、 私たちのキャンパス

キャンパスをみんなで創る取り組みとして、株式会社竹中工務店さんのご協力のもとワークショップを開催してきました。第一回目は、新棟の建設にあたり、自習室や大講義室、トイレなどのインテリアについてディスカッションやプレゼンテーションが行われました。

第2回 新しくできる居場所の ネーミングを考えよう

第二回では、建設中の新棟の現場見学会を開催し、その後、各施設の名称を考えるネーミングのワークショップが行われました。キャンパスにできる新たなスポットをもっと好きになれるようなネーミングを、学生や教職員みんなで考えました。

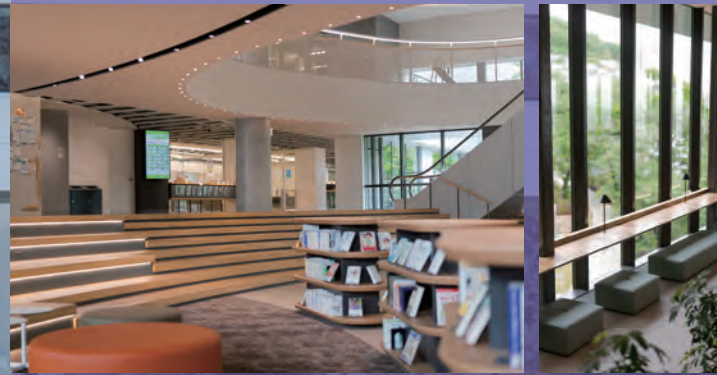
第3回 神薬ガーデン デザインワークショップ

三回目となるワークショップでは、神薬ガーデンの整備に向け、みんなで新しい居場所を考える企画が行われました。グループで模型をつくりながら「どのように過ごしたいか」「どのような場所にしていきたいか」を話し合い、発表後には意見を交わしました。

みんなで考え、みんなで創る。
それが、神薬のキャンパス。

SHINYAKU LIVING

憩い、つながり、広がる。学びと日常が交わる、キャンパスの新しい中心地。



2024年4月に完成した新教育棟。その中心に設けられた「神薬リビング」は人と人、人とモノをつなぎ、日々の学生生活に活気とつらぎをもたらす空間です。開放感あふれる2層吹き抜けの構造で、大講義室・多目的室・自習室・学生支援センター・レンタルラボがスケルトンで面しているため、自然な行き来が生まれます。また、デジタルコンテンツや書籍が配架されているほか、イベントを開催できるスペースもあり、「学び」と「つながり」が広がる中心地になっています。

KPU ACADEMIC COMMONS

本がもっと身近に。世界が広がる一冊に出会える、3つの空間。



A棟 3F/ブックラウンジ

学生や教職員が日々行き交い、さまざまなものがつながる場所「神薬リビング」内に位置するブックラウンジ。ここでは学術雑誌や新書、小説をはじめ、最新の情報に出会うことができます。たくさんの書籍が並び、知的好奇心が刺激される空間です。



E棟 3F/ブックテラス

文庫本や雑誌など、多彩なジャンルの本に親しめるブックテラス。中には、学生たちが選んだ書籍も並びます。音楽が流れ、やわらかな照明に包まれるこの空間では、心地よく、自分らしく読書を楽しむことができます。



G棟 1F/ライブラリコモンズ

専門書や参考書など、講義や研究に必要な書籍が並び、ライブラリコモンズ。静かな空間で、読書や勉強に没頭することができます。薬学や医学の知識を深めたり、研究に役立つ新しい手法や視点に出会ったり、日々の学びをそっと支える場所です。

新図書館システムAlma、Primo VEを導入しました。

近年、学術研究の世界では「オープンアクセス(OA)」化が急速に進み、論文や研究成果をインターネット上で無償公開する流れが世界的に広がっています。こうした変化に対応するため、本学では新図書館システム「Alma」「Primo VE」を導入しました。

「Alma」は、紙の図書だけでなく、電子ジャーナルや世界中で公開されている学術論文までを一元的に扱える次世代型の図書館システムです。「Primo VE」では、契約電子資料と所蔵資料を横断的に検索できるほか、論文・記事やWeb上の学術情報もまとめて検索可能となり、検索から本文閲覧までをスムーズに行える環境が整いました。

さらに、「Alma & Primo VE」には生成AIを活用したリサーチ支援機

能も搭載。信頼性の高い学術データベースをもとに、AIが情報探索をサポートし、必要な資料へスムーズにアクセスできるようになります。

本システムは、ケンブリッジ大学やハーバード大学をはじめとする海外の名門大学図書館でも運用されている国際標準・世界標準のシステムで、国内では早稲田大学や慶應義塾大学などで導入されています。中小規模大学での導入は先進的な取り組みであり、ISO27001認証を取得した安全性・堅牢性に優れたクラウドサービスです。この新しい学術環境に合わせ、自動貸出機もスタイリッシュにリニューアル。本学は、図書館を単なる「知識に出会える場」から、「知識を深める場」へと進化させていきます。

FOR STUDENTS



研究テーマ

物理学的手法を用いた病態診断・治療のための薬剤研究

カンタンに説明すると

体の中の動きを分子レベルで解明して、より正確な診断薬とより効果的な治療薬を開発する

たとえば



ナノ粒子って何？

とても小さな粒子で、体の中を流れながら目的の場所に集まる性質を持っています。特定の成分を運んだり、光や磁気で位置を確認したりできることから、診断や治療に活用されています。



蛍光や磁気共鳴などのイメージング技術を組み合わせた複合型診断薬の開発

がん細胞に特異的に作用するような、放射性同位元素や熱などを利用した抗がん剤の開発

これにより

がんなどの多様な病態の理解やより精度の高い診断につなげる

これにより

副作用を抑えたより安全で効果的ながん治療の実現を目指す

これらの薬を効率良くがん組織へ送達する方法についても研究

こうした取り組みが

病気の診断と治療を一体化した、新しい医療の実現に貢献

この研究は、社会にどのような影響を与えるの？

病気の「早期発見」と「効果的な治療」の実現に大きく貢献すると考えています。分子イメージング技術の発展により、がんや動脈硬化などの病変部位を体内で可視化できるようになれば、従来よりも早い段階で異常を見つけることが可能となります。また、がん細胞だけに集まる薬剤の開発が進めば、正常な細胞へのダメージを抑えつつ、効率的にがんを攻撃する治療法の確立につながります。これにより、副作用の軽減や患者さんの生活の質の向上が期待されます。さらに、診断と治療を一体化した「セラノスティクス」の実現により、患者さん一人ひとりに最適化された個別化医療の推進にも寄与できます。加えて、治療効果のリアルタイム評価が可能となることで、無駄のない医療提供にもつながり、結果として、医療の精度向上や医療費の削減など、社会全体に広く恩恵をもたらすことが期待されます。



薬品物理化学研究室 研究内容や担当科目はこちら



※一般の方の理解を促すため、正確な表現ではない部分もあります。

教えて先生！ 研究内容をカンタンに

薬品物理化学研究室 向 高弘 教授

どんな研究をしているの？それが、どんな未来につながるの？

今回は、薬品物理化学研究室の向先生を訪れ、現在研究室で取り組んでいる研究内容について教えてもらいました。



撮影のウラ側！
お見せします！

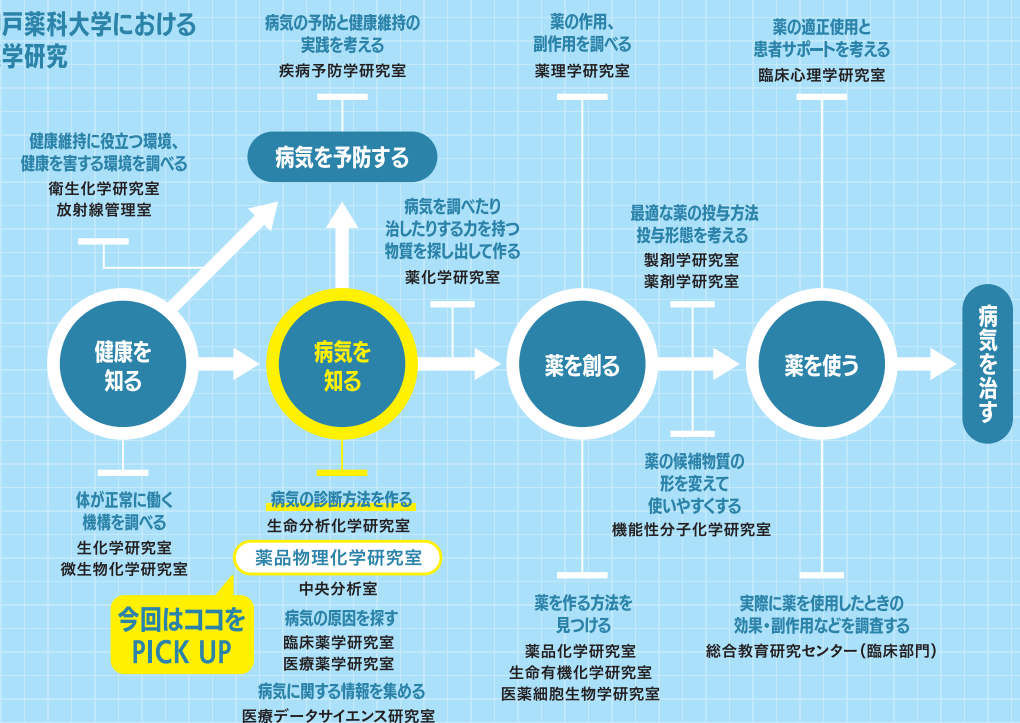


Profile Professor Mukai Takahiro

京都大学薬学部製薬化学科を卒業後、京都大学大学院薬学研究科修士課程を修了。住友製薬株式会社製剤技術研究所研究員を経て、長崎大学薬学部助手、京都大学医学部附属病院助手として研究に従事。2004年より九州大学大学院薬学研究院助教授、2007年より同准教授。2011年に神戸薬科大学教授に着任し、放射性医薬品や分子イメージングを基盤としたがん診断・治療に関する研究を進める。現在は神戸薬科大学副学長、日本薬学会、日本核医学会、日本分子イメージング学会などに所属し、医薬品科学分野の研究と教育に携わる。



神戸薬科大学における薬学研究



今回はココを PICK UP



栄養状態と身体機能低下の関連を解き明かし、より安全で効果的な「セルフメディケーション」を探究する。

ビタミン不足と筋力低下(サルコペニア)・加齢による心身の活力低下(フレイル)等の関連について研究を進めています。また、消費者庁の食品安全科学研究事業による研究班に所属し、「健康食品による健康被害を防ぐための専門家の活用」についても研究しています。

薬学では「薬を作る」・「薬を使う」に加えて、「薬を使わなくてもよい体を作る」ことも重要です。そのためには、糖質・脂質・たんぱく質の三大栄養素に加え、ビタミンやミネラルなどの微量栄養素を望ましい状態に維持・改善することが有効です。

自分自身の健康に責任を持ち、軽度の身体の不調を自分で手当てすることを「セルフメディケーション」といい、限りある医療資源を有効に活用しながら、健康の維持・増進を図る上でますます重要になると考えています。今後も、研究から得られた情報の発信などを通じて、安全で効果的なセルフメディケーションを推進していきたいと思っています。



薬学で拓くセルフメディケーションの最前線。

KAMAO MAYA HISTORY



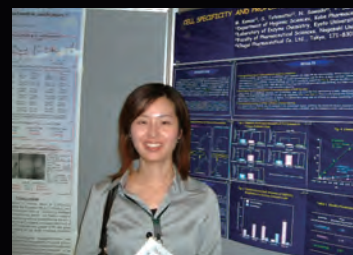
高校時代

中学校・高校時代は演劇部に所属していました。演劇を題材とした漫画『ガラスの仮面』の主人公が「マヤ」という名前であったことに触発されたのがきっかけです。当時のトレーニングのおかげで、今でも声は大きい方だと思います。



大学時代

大学時代は長期休みを利用して、友人と日本各地を旅行しました。中でも、大学のクラスメイトであり研究室も同じだった仲良し4人組で、ユースホステルに宿泊しながら10日間ほどかけてレンタカーで北海道を巡った旅は、特に心に残っています。



大学卒業後

神戸薬科大学を卒業後、修士課程を経て、学生時代に所属していた衛生化学研究室に助手として採用されました。ビタミンDの代謝調節機構や多様な生理作用について研究を行い、国際学会で発表する機会にも恵まれました。



エクステンションセンター
鎌尾 まや 講師

Front Runner

神研プロジェクトの最前線で活躍する教員たち



エクステンションセンター
研究内容や担当科目はこちら

神薬カンケイ

研究室の頼れるふたりは、
「ムロンビ」。



講師
高木 晃先生

博士課程3年
池永 千裕さん

撮影のウラ側！
お見せします！



薬化学研究室

がん固有の環境で効果を発揮する化合物の開発や、体内の可視化に関する研究を行う「薬化学研究室」。この研究室に所属するのが、講師の高木先生と薬剤師レジデント(博士課程3年)の池永さんです。「学部生の頃からお世話になっている先生です。先生のおかげで、みんなが充実した研究に取り組んでいます」と池永さん。一方、高木先生は「池永さんは私の手が届かないところまで気を配り、研究を楽しもうという雰囲気をつくってくれます」と話します。学生をとことんサポートする先生と、現場経験を持つムードメーカーな院生。この二人の信頼関係が、研究室のあたたかな空気を形づけているようです。

神薬カンケイ

学年を超えてつなぐ、
信頼のラリー！



3年
陶山 結生さん

4年
山下 紗果さん

撮影のウラ側！
お見せします！



硬式テニス部

現在、男女合わせて約40名が所属する硬式テニス部。先輩が勉強を教えたり、部活外でもみんなで遊びに行ったり、とにかく部員みんなの仲がいいです。そんなテニス部をキャプテンとして引っばってきたのが元部長の山下さん、そのあとを受け継いだのが現部長の陶山さんです。「陶山さんは一番仲がいい後輩。いつも練習をがんばっている姿を見て、部長を任せたいと思いました」と話す山下さんに対し、「一番信頼している先輩です。これからも頼らせてください!」と陶山さん。学年を超えて結ばれたふたりの絆もまた、コートに心地よい空気を生んでいるようです。

今年度も活気あふれる「ききょう祭」を開催します！

2026年度のききょう祭は、10月11日(日)に開催されます。今年のテーマは「Resonate～心に響くききょう祭～」です。この言葉には、「響き合う」「心に響く」という意味が込められています。ききょう祭に携わる学生や、ご来場くださる皆さまの思いが重なり、会場に広がる楽しさや笑顔が、多くの方の心に響く一日となつてほしいという願いを込めました。当日は、学生によるさまざまな企画や催しを通して、ご来場いただく皆さまに特別な思い出をお届けできるよう努めてまいります。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



トキキちゃん



ききょう祭

KIKYO FESTIVAL

学年問わず、いつでも誰でも大歓迎！実行委員を募集中！

ききょう祭実行委員会では、ゲストによるトークショーやお笑いライブ、ビンゴ大会などの企画をはじめ、模擬店の運営や広報、当日に向けた準備を通して、みんなで学祭をつくり上げていきます。「こんな学祭にしたい!」という思いを形にできることも、大きな魅力のひとつです。学年を問わず、いつでもメンバーを募集しているので、少しでも興味のある方はぜひSNSをチェックしてみてください。私たちと一緒に、思い出に残るききょう祭をつくりましょう!



BEST TEACHER 2025

2025年度 ベストティーチャー

学生による授業評価アンケートの結果をもとに、FD(ファカルティディベロップメント)委員会において選考しています。

1年次

「基礎有機化学」上田 昌史 教授
「社会心理学」中島 園美 准教授

2年次

「微生物学」小西 守周 教授・増田 有紀 講師
「有機化学II」波多野 学 教授

3年次

「物理薬剤学」坂根 稔康 教授
「薬物動態学I」大河原 賢一 教授

4~6年次

「社会薬学」田中 晶子 講師

答えは?

QRコードから必要事項を送ると
抽選で20名様に神薬グッズプレゼント!

回答期限 7月20日(月) 23:59

Q1 体が消費するエネルギー量のうち、生命を維持するために必要な最小限のエネルギーのこと。基礎○○○○

Q2 医薬品の使用によって生じる副作用や健康被害のリスクを防ぎ、患者が安全に薬を使用できるようにするための総合的な情報のこと。○○○○性情報

Q3 医薬品が病気や症状に対して発揮する、「効き目」や「効果」を指す言葉。

Q4 新薬(先発医薬品)と同じ有効成分を使っており、品質、効き目、安全性が同等な薬のこと。

Q5 「薬物がどのように生体に作用するのか」を解き明かす質問のこと。

Q6 やる気や集中力、快感、達成感といった感情や行動を司る重要な物質で、「脳の報酬系」といわれる物質のこと。

Q7 「必要な時に、必要な場所へ、必要な量だけ」薬を届ける技術のこと。ドラッグ○○○○システム。

Q8 体内の薬の成分(血中濃度)が半分に減るまでに要する時間のこと。○○○○期

正解: Q1: A, Q2: B, Q3: B, Q4: G, Q5: D, Q6: F, Q7: G, Q8: H

神薬ワードパズル

□には漢字は含まれません。

RESULT REPORT 国家試験と進路

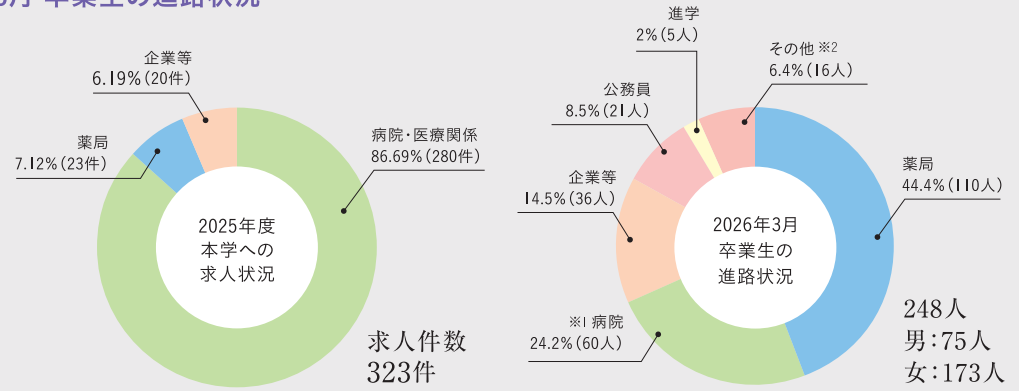
第111回 薬剤師国家試験報告



合格者の推移	本学*	本学新卒	全国*
110回(2025年)	76.79%	82.09%	68.85%
109回(2024年)	79.47%	84.00%	68.43%
108回(2023年)	82.11%	85.61%	69.00%

※既卒者含む

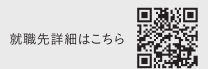
2026年3月 卒業生の進路状況



※1 病院には「レジデント」を含む ※2 「留学」「自営」及び「資格取得希望者(国試不合格者で内定取消の者又は入社を辞退した者)」
※2 休学者及び卒業留年決定者は含まない。(2026年5月1日現在)

2026年3月 卒業生の就職先一覧

- 企業等
- 第一三共/中外製薬/アストラゼネカ/アヴィ/MSD/日本イーライリリー/塩野義製薬/協和キリン/大塚製薬/マルホ/科研製薬/沢井製薬/東和薬品/小林製薬/佐藤薬品工業/シスメックス/日本メナード化粧品/大塚製薬工場/シオノギファーマ/劑盛堂薬品/新日本科学PPD/イービーエス/ツムラ/陽進堂/スズケン/メディセオ/アルフレッサ/サンブラネット/キンドリルジャパン
- 公務員
- 広島県警察本部 科学捜査研究所/兵庫県立尼崎総合医療センター/兵庫県立西宮病院/兵庫県立加古川医療センター/兵庫県立はりま姫路総合医療センター/兵庫県立丹波医療センター/兵庫県立淡路医療センター/兵庫県立こども病院/兵庫県立がんセンター/北播磨県民局加東健康福祉事務所/神戸市職員/京都府職員/奈良県職員/福井県職員/中東遠総合医療センター
- 病院
- 大阪大学医学部附属病院 薬剤師レジデント/大阪市立総合医療センター 薬剤師レジデント/神戸大学医学部附属病院 薬剤師レジデント/神戸市立医療センター西市民病院 薬剤師レジデント/兵庫医科大学病院 薬剤師レジデント/慶応義塾大学病院レジデント/大阪公立大学医学部附属病院/東京慈恵会医科大学附属病院/順天堂大学医学部附属浦安病院/名古屋市立大学病院/近畿大学医学部附属病院/広島大学病院/徳島大学病院/鳥取大学医学部附属病院/JCHO 徳山中央病院/NHO 近畿グループ/NHO 中国四国グループ/神戸市民病院機構/広島県立病院機構/住友病院/大阪府済生会中津病院/大阪府済生会千里病院/大阪けいざつ病院/医誠会国際総合病院/大阪明館病院/高槻病院/泉大津急性期メディカルセンター/藤井病院/高石藤井病院/大野記念病院/協和会/ツカザキ病院/明石医療センター/川崎病院/済生会兵庫東病院/長久病院/三木山陽病院/京都岡本記念病院/京都桂病院/宇治徳洲会病院/済生会滋賀県病院/西奈良中央病院/川崎学園/倉敷中央病院/東京ベイ 浦安市川医療センター/成田赤十字病院/住友別子病院/近森病院
- 薬局
- アインホールディングス/アカカベ/サエラ サエラ薬局/スギ薬局/マツモトキヨシ/ココカラファインヘルスケア/ウエルシアホールディングス/総合メディカル/ゴダイ/クオール/キリン堂/サンドラッグ/メディカルシステムネットワーク などの花薬局/日本調剤/ツルハ/プラザ薬局/イオンリテール/メディカルボックス/ユタカファーマシー/龍輝調剤薬局/ヤマグチ薬局/NIKKKA むすび薬局/エバグリーン廣基/日本メディカルシステム/オール薬局/平成薬局/レディ薬局/沖縄健康企画



就職先詳細はこちら

Event Report



Event Report 01 白衣授与式

2026年1月27日(火)、白衣授与式を挙行了しました。白衣授与式は「病院実習・薬局実習」を控えた4年次生に臨床現場に足を踏み入れる責任感、本学の学生としての自覚を再認識し門出を祝う式典です。

Event Report 02 2025年度学部卒業式および大学院修了式

2026年3月6日(金)、ききょう記念ホールにおいて、2025年度学部卒業式および大学院修了式を挙行了しました。皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。



Event Report 03 2026年度入学式

2026年4月2日(木)、ききょう記念ホールにおいて、2026年度学部および大学院入学式を挙行了しました。273名の学部新入生の皆さま、4名の大学院新入生の皆さま、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。

Information

人事・組織機構改正

【退職】(定年退職)



教授 玉巻 欣子
(英語第二研究室)
(2026年3月31日付)



教授 山野 由美子
(総合教育研究センター
統括部門)
(2026年3月31日付)



准教授 赤井 朋子
(英語第一研究室)
(2026年3月31日付)



准教授 安岡 由美
(放射線管理室)
(2026年3月31日付)



課長 岸 礼子
(総務企画課)
(2026年3月31日付)

課長 中山 隆博(経理課)(2026年3月31日付)

〈依願退職〉主査 藤原 知子(学術情報課)(2026年2月28日付)
助教 小池 敏靖(生化学研究室)(2026年3月31日付)

【採用】(新規採用)



教授 関 貴弘
(薬理学研究室)
(2026年4月1日付)



特任教授 小竹 武
(総合教育研究センター
臨床部門)
(2026年4月1日付)



特任教授 細井 信造
(総合教育研究センター
薬学教育アチーブメント室)
(2026年4月1日付)



准教授 開 章宏
(総合教育研究センター
薬学教育アチーブメント室)
(2026年4月1日付)



助教 赤坂 貴浩
(薬品物理化学研究室)
(2026年4月1日付)



助手 杉田 翔一
(生命有機化学研究室)
(2026年4月1日付)

特別教授 山野 由美子(2026年4月1日付)

特別職員 中山 隆博(事務局 管財課)(2026年4月1日付)

特別職員 岸 礼子(事務局 総務企画課)(2026年4月1日付)

受賞・受賞・表彰

- 6年 岸野 彩花(薬品化学研究室)「第75回日本薬学会関西支部総会・大会優秀賞(ポスター発表)」(2025年10月4日付)
- 6年 小林 史佳(医薬細胞生物学研究室)「第75回日本薬学会関西支部総会・大会優秀賞(ポスター発表)」(2025年10月4日付)
- 5年 井上 ころこ(薬理学研究室)「第75回日本薬学会関西支部総会・大会優秀賞(ポスター発表)」(2025年10月4日付)
- 4年 前田 亮(薬品物理化学研究室)「第75回日本薬学会関西支部総会・大会優秀賞(ポスター発表)」(2025年10月4日付)
- 5年 森島 陽香(微生物化学研究室)「第75回日本薬学会関西支部総会・大会優秀賞(ポスター発表)」(2025年10月4日付)
- 6年 藤田 さつき(微生物化学研究室)「第75回日本薬学会関西支部総会・大会優秀賞(ポスター発表)」(2025年10月4日付)
- 小池 敏靖 助教(生化学研究室)「Carbohydrate Research JSRC44 Poster Award」(2025年10月9日付)
- 室井 延之 評議員「令和7年度薬事功労者厚生労働大臣表彰」(2025年10月10日付)
- 田中 晶子 講師(製剤学研究室)「2026年度日本薬学会助成薬学研究者奨励賞」(2026年3月26日付)

寄付

株式会社アカカベ/株式会社大阪ソーダ/医療法人協和会/ゴダイ株式会社/創盛堂薬品株式会社/たんぼ薬局株式会社/社会医療法人三栄会ツカザギ病院/株式会社ニシイチドラッグ/株式会社ぼうしや薬局/同窓会

【現物寄付】

卒業記念樹(サクラ/ソメイヨシノ):第72回学部卒業生一同/紅白梅:同窓会大阪支部ならわ桔梗会/笹部桜:株式会社竹中工務店



Event Calendar

2025.10 October - 2026.3 March

①②③④⑤⑥の数字は対象年次を示しています。

10

12 ききょう祭
オープンキャンパス

18 桔梗友会役員会
TOEIC® L&R IPテスト
④⑤ ワークスタディプログラム報告会・
情報交換会

27 防災避難訓練

11

1 桔梗友会総会/保護者懇談会
保護者のための就職ガイダンス

5 ⑤ 履歴書・面接対策講座
⑤ 病院就活セミナー
⑤ 病院・公務員志望者のための
「小論文」対策講座

6 ⑤ 就活メイクアップ講座
12 ⑤ 模擬面接・
グループディスカッション
実践トレーニング

13 3薬科大学「合同業界研究セミナー」
(病院・官公庁編)オンライン

30 ホームカンニングデー
第17回神戸薬科大学
エクステンションセンターシンポジウム

12

14 ④ 薬学共用試験OSCE本試験

22 ④ 薬学共用試験CBT本試験

23 ④ 薬学共用試験CBT本試験

1

9 後定期試験
(10日間)1/9~1/23

27 ④ 白衣授与式

2

6 動物慰霊祭
④ 就活キックオフセミナー
④ ビジネスマナー講座
④ ワークスタディプログラム
受講説明会

18 ⑤ 模擬面接実践トレーニング

21 第11回薬剤師国家試験

22 第11回薬剤師国家試験

3

6 学部卒業式・
大学院修了式